



# 七国小だより

令和8年1月30日  
八王子市立七国小学校

## 七国小学校の教育目標

自分を伸ばします

●すすんで学びます

●心をみがきます

●体をきたえます

「未来に挑戦する日本一優しい学校」づくり

『今の自分が好き』になるために・・・

～一歩踏み出してみよう～

新年を迎え1ヶ月が経ちました。子供たちは寒さをものともせず、校庭を走り回って遊びにそして、勉強に熱量高く取り組んでいます。保護者・地域の皆様、気温の変化の激しい時期ですがいかがお過ごしでしょうか。

さて、私事ですが、新年早々体調を崩すことがあり、体力のなさを強く反省する機会がありました。

そして今年はさすがに基礎体力をつけないと大変なことになることを実感し、「よしっ！」と思い立って毎日仕事の後に30分間ウォーキングをすることに決めました。

始業式では「へび年は目標を長く続ける。今年のうま年は目標を見付けて全力で駆け抜けることに挑戦しよう」などとお伝えしようと思っておりましたが、・・・自分ができない事を子どもに言うべきではないと強く思い直しました。そして、実は大人も心がそんなに強くないことや、私も苦手な運動に30年間も取り組んでこなかったことを正直に打ち明けました。そして、苦手だからといってずっとやらないと、もっと大変なことになってしまったことをお伝えしました。



そのうえで、今年の小さな決意としてお仕事の後、『今の校長先生では走ることはできないけど、毎日30分間歩くことを続けてみるね』と小さな宣言をしました。そして子供たちにはどんな目標でも構わないので、自分が苦手なことをあきらめず、自分の速度・量で、校長先生と毎日一緒に続けてみよう」と呼びかけてみました。

最近、他校の校長先生とお話をする機会をもち大きな学びがありました。紹介させていただきます。『今の自分が好き』を学校のキーワードにして、学校の全員が『今の自分が好き』と思えるように行動しよう。」を合言葉にして挑戦しているそうです。たとえ生活の中で自信を失うようなことがあっても、明日は『今の自分が好き』と言えるように自分を振り返り、課題に気づき、対策を考えて、次の日に「えいっ」と一歩踏み出してみる。



改めて、このお話を聞いて、大人になった自分でも「今の自分が好き」と言えるのだろうか、自分の毎日の生き方についても自省する機会となりました。

「自分を好きになる」ということは、簡単なようで案外難しいことです。国際調査である PISA 調査において、日本人の学力は常に上位を示しますが、『自己肯定感』については常に先進国の中でもほぼ最下位にあるという結果が出ています。日本人特有の謙虚さともとれますが、背景に『自己肯定感』を育てにくい教育や社会の在り方にも要因があるのではないかと考えています。

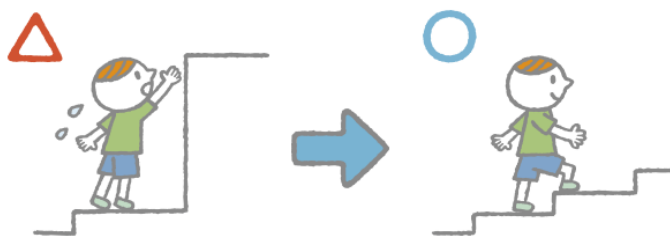
『自己肯定感』は、1『自己有能感』（「できた！！」：自分には課題を解決し困難を乗り越える力があると感じる感覚）、2『自己有能感』（「役に立った！！」：自分は人の役に立つことができると感じる感覚）、3『絆感』（「安心できる仲間がいる」：自分は一人じゃない、自分には支えてくれる人がいると感じる感覚）という3つの構成要素が

あるそうです。

学校では授業改善や教え合い学び合う経験を通し「できた！」という成功経験を増やすことや、係や委員会活動を通し、「みんなのために頑張る」経験、クラスを単位とした信頼できる関係づくりなど日々工夫しているところです。家庭でもお子様の『自己肯定感』を高められるように、様々な工夫をされておられるのではないのでしょうか。

ここで、大切なことは最終目標や花が開くところに大人が目向けすぎると、自然と子ども自身も求められていると感じる評価基準が高まり、できていない自分や、不足している自分に目が行ってしまいがちになる（＝自己肯定感が下がる）ことです。

目標達成までの過程や段階、努力に目向け、スモールステップ（段階的）にして、その都度前向きな声をかけていくことで、子どもは褒められ、認められる経験が増えます。学校としてはそうして子ども自身が「できた自分」「役立った自分」「助け支え合う関係」を実感できる経験を増やすことで、『自己肯定感』を高めていきたいと思います。また、失敗しても明日「今の好きな自分」になれるために一緒に解決方法を考え、併歩しともに成長していきたいと思います。



ぜひご家庭でも、大切なお子様が「今の自分が好き」と言えるように、『自己肯定感』を高める工夫に挑戦してみてはいかがでしょうか。ぜひ家庭で効果ある取組が見つかりましたら、学校にも教えてくださいね。

最後になりますが、子ども達の学びとして、始業式で4年生の児童が発表してくれた作文の一部を紹介します。

### 「やさしい注意」 （4年生児童作文より）

「だから、君がやったことは悪かったと言ってんの！」  
友達を注意するとき、僕はいつも強く言いすぎてしまう。  
そのくせに、あとから悪かったと思ってしまう。そんなのはもういやだ。  
…  
今まで、ぼくは大きなまちがいをおかしていたのだ。  
ここから、もう解決法はわかる。  
自分におきかえて、こう言われたらうれしいとか、こう言われたらいやな気持ちになるとかを考えて発言するようにしたのだ。  
そうすれば、自分も相手もいやな思いをせずにすむ。  
ぼくはそんな、やさしい注意をこれからも心がけていきたい。

「注意」とは、相手のことを思い、心のコップが溢れないように、意味を丁寧に注ぎこむ大切な生きる術です。注意のつもりで伝えた言葉でも、丁寧に意味を注ぎ込まないと、水が溢れてしまい、それは「攻撃」と受け取られてしまうことがあります。

4年生の子どもが、学校生活を通して自ら「生きる術」に気付き、成長を遂げていることを校長としても心から頼もしく、うれしく思います。



## 令和7年度 第2回 学校教育に関するアンケート結果のご報告

日頃より本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先日実施いたしましたアンケートには、266名の保護者の皆さまから回答をいただきました。集計結果に基づき、本校の教育活動の成果と今後の課題についてご報告いたします。

### 1. 集計結果一覧（全18項目）

質問項目	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	わからない
1. 教育方針（日本一優しい学校）の認知	60.5%	33.1%	4.5%	1.1%	0.8%
2. 学校の重点的な取組の認知	62.0%	30.8%	5.3%	1.1%	0.8%
3. 七国中との合同取組の認知	35.7%	33.5%	16.9%	5.3%	8.6%
4. 安全管理・避難訓練等の実施	69.9%	26.3%	1.5%	0.4%	1.9%
5. 自他の大切さを認める教育	61.3%	34.2%	1.9%	0.8%	1.9%
6. いじめ防止・早期発見への取組	56.4%	34.6%	4.5%	0.8%	3.8%
7. 学級の落ち着き・学習環境	54.9%	37.6%	4.9%	0.8%	1.9%
8. 指導方法の工夫（ICT活用等）	58.6%	33.8%	4.1%	0.4%	3.0%
9. 学習評価の適切さ・公平性	44.4%	40.6%	7.9%	1.1%	6.0%
10. 生活指導への適切な取組	52.6%	38.3%	4.1%	0.8%	4.1%
11. 体験的活動を通じた学び	61.3%	31.6%	4.5%	0.4%	2.3%
12. 学習環境の整備・清掃活動	63.5%	30.5%	3.0%	0.4%	2.6%
13. 保護者への適切な情報提供	64.7%	31.6%	2.6%	0.8%	0.4%
14. 特別支援教育への取組	44.0%	32.3%	4.5%	1.1%	18.0%
15. 「あいさつ」への意識向上	41.0%	45.1%	10.2%	2.3%	1.5%
16. 教員への相談のしやすさ	53.4%	34.6%	6.4%	2.6%	3.0%
17. 学校行事の充実（音楽会等）	71.8%	23.3%	3.4%	1.1%	0.4%
18. 学校生活の楽しさ	68.4%	24.8%	3.8%	1.5%	1.5%

### 2. 分析と今後の取組

#### 【成果と分析】

今回のアンケートでは、「学校行事の充実（肯定率95.1%）」や「安全管理（96.2%）」において、前回に引き続き高い評価をいただきました。特に音楽会等の行事については、約7割の方が「あてはまる」と回答されており、教育活動への共感を示していただきました。また、「学校生活の楽しさ（93.2%）」や「情報提供の適切さ（96.3%）」も高く、学校と家庭との連携が維持されていることが伺えました。ICT活用についても、積極的な指導の工夫が保護者の皆さまに実感されていました。

### 【課題と今後の取組】

一方で、「中学校との合同取組」や「特別支援教育」の項目では「わからない」という回答が1割～2割弱見受けられました。専門的な取組についても、学校だよりやHPを通じてより具体的にその内容を発信し、理解の促進に努めます。また、「あいさつ」については、肯定率が8割を超えているものの、他項目に比べ「あまりあてはまらない」の割合が10%と高くなっております。学校でも今年度、「あいさつキャンペーン」に年間を通して全学年・全学級に拡大して取り組んできましたが地域・家庭と足並みを揃え、日常的な声掛けも強化していくことが必要と感じました。自由記述でいただいたご意見については、組織としての体制や確認事項を再点検し、より一層の学校としての安心感を提供できるよう今後も改善に取り組んでまいります。

### 3. 自由記述欄に寄せられた主なご意見（要約）

- ・ 音楽会などの行事を通した子どもの成長への感動と運動会へのご意見（多数）
- ・ タブレット活用への期待と、効果的な学習・連絡ツールとしての活用希望
- ・ 教職員の情熱への評価の一方で、きめ細やかな連携へのご要望

今後も、子どもたちが安心して自分らしさを発揮できる「日本一優しい学校」を目指し、全職員一丸となって取り組んでまいります。

### 【学校公開のお知らせ】

2月14日（土）今年度最後の学校公開を行います。子供たちの学習への取り組みの様子や今年度の学習の成果、頑張りをご参観ください。下記の時程等をご確認いただき、ご来校ください。

1 日時 2月14日（土曜日） 9：35～12：15 2時間目～4時間目

#### 2 お問い合わせ

○各学年の学習内容や参観場所につきましては、学年だより・学級だより、学級からの連絡等をご確認ください。

○ご来校の際は『さくら門』をご利用ください。

○参観中は保護者用名札の着用をお願い致します。

○自動車・自転車でのご来校はご遠慮ください。徒歩でのご来校をお願いします。

○上履き、下履きを入れる袋をご持参ください。参観の際はお手元にお持ちください。

○児童の学習への配慮、プライバシー保護のため、ビデオ撮影や写真撮影はできません。

○参観中の廊下や教室等での私語はご遠慮ください。

### ■転出入の情報提供について

来年度に向けて学級編成の準備時期となりました。今後転出予定のある方は、早めにお知らせください。また、転入等の情報もお寄せいただけましたら幸いです。ご協力をお願いします。

### ■ 第7回学校運営協議会

1月15日（木）18時～七国小学校家庭科室において学校運営協議会を実施しました。七国小・中学校から、行事や学校の様子等を報告し、情報交換を行いました。また、今後の学校運営に関し、協議・意見交換を行いました。第8回は、2月12日（木）18：00～七国小学校で実施予定です。次回が今年度最後の学校運営協議会となります。

日	曜	時程	主な学校行事等	ななくに ☆キッズ	スクール カウンセ ラー	クラブ ・委員 会	朝の時間	総授業時数					
								1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	日												
2	月	通常	安全指導 都心理士巡回相談日	☆	SC		体力<中> 基礎・基本 <低・高>	5	5	5	5	5	5
3	火	通常			SC		朝会	5	5	5	5	5	5
4	水	通常	小中一貫教育の日	☆			体力<低> 基礎・基本 <中・高>	5	5	5	5	5	5
5	木	短縮						5	5	5	6	6	6
6	金	通常					体力<高> 基礎・基本 <低・中>	5	5	6	6	6	6
7	土												
8	日												
9	月	通常	小中ふれあい（1～3年：5h） 七国中授業体験（6年：5h）	☆	SC		体力<中> 基礎・基本 <低・高>	5	5	5	5	5	5
10	火	通常	たてわりリーダー会議 （5年：中昼休み）		SC		集会 （ゲーム）	5	5	5	5	5	5
11	水		建国記念の日										
12	木	短縮						5	5	5	6	6	6
13	金	通常					体力<高> 基礎・基本 <低・中>	5	5	6	6	6	6
14	土	通常	学校公開		SC		朝読書 基礎・基本	4	4	4	4	4	4
15	日												
16	月		振替休業日										
17	火	通常			SC		集会 （保健）	5	5	5	5	5	5
18	水	通常	委員会⑩ 玉川大学英語（1・2年）	☆		委	体力<低> 基礎・基本 <中・高>	5	5	5	5	5	5
19	木	短縮						5	5	5	6	6	6
20	金	通常	ゆりかご幼稚園との交流会 （1年：2・3h）				体力<中> 基礎・基本 <低・高>	5	5	6	6	6	6
21	土												
22	日												
23	月		天皇誕生日										
24	火	縦割	縦割り班活動ファイナル⑥		SC			5	5	5	5	5	5
25	水	通常	クラブ⑩ さゆり学園、敬愛保育園との交流会 （1年：2・3h）			ク	体力<低> 基礎・基本 <中・高>	5	5	5	5	5	5
26	木	短縮						5	5	5	6	6	6
27	金	通常	全校5時間授業				体力<高> 基礎・基本 <低・中>	5	5	5	5	5	5
28	土												

※今月の避難訓練は予告なしで行います。